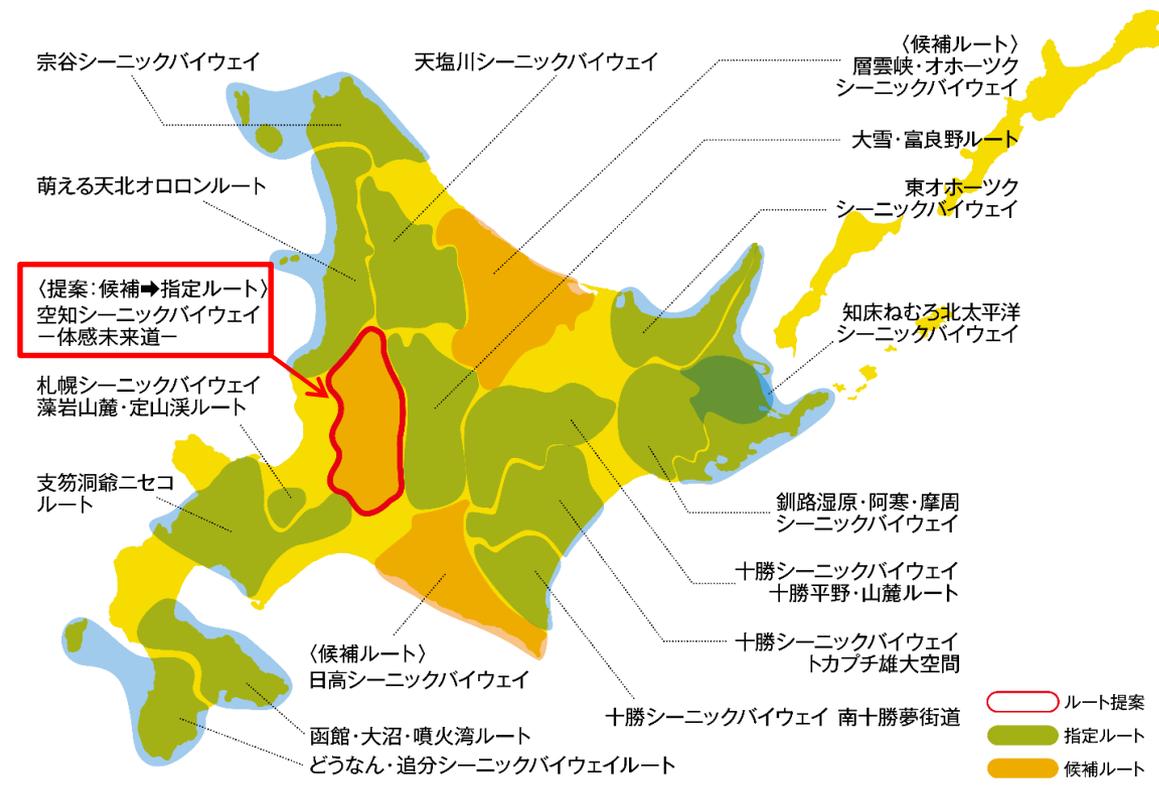


シーニックバイウェイ北海道 今回の提案ルート

令和6年9月27日アドバイザー会議にてルート指定の推薦に関する審査を行った。

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
〈提案:候補→指定ルート〉 空知シーニックバイウェイ —体感未来道—	工藤 克彦 (くどう かつひこ)	NPO法人日本一直線 道まちづくり研究会	22	24



▼ルート登録状況

候補登録年月日	指定年月日	ルート名称
—	H17.05.09	支笏洞爺ニセコルート
—	H17.05.09	大雪・富良野ルート
—	H17.05.09	東オホーツクシーニックバイウェイ
—	H18.04.18	宗谷シーニックバイウェイ
H17.05.09	H18.11.13	函館・大沼・噴火湾ルート
H17.05.09	H18.11.13	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
H18.04.18	H20.05.12	萌える天北オロロンルート
H18.04.18	H21.05.13	十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
H20.05.12	H22.05.17	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
H18.04.18	H23.07.29	十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
H21.05.13	H23.07.29	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート
H20.05.12	H27.12.21	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
H25.06.24	H29.10.24	天塩川シーニックバイウェイ
R01.09.20	R04.12.22	知床ねむる北太平洋シーニックバイウェイ
H25.06.24		層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ
H30.11.05		空知シーニックバイウェイ—体感未来道—
R04.12.22		日高シーニックバイウェイ

アドバイザー会議 意見

○シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第六項の規定に基づき、
「空知シーニックバイウェイ-体感未来道-」を指定ルートに推薦する。

■シーニックバイウェイ指定ルート

○優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性

- ・石狩川流域の広大かつ時に細やかな地形と市街地、そしてそれらを結ぶ道路や河川が織りなす独特で価値の高い風景は、空知地域ならではの大きな魅力である。石狩川の豊富な水資源に支えられた広大な水田や丘陵地の畑、一直線に続く農道など「北海道らしい」風景が広がる。歴史ある炭鉱関連施設、廃線跡、ワイン畑、穀倉を支える水田や農道などの農業インフラが点在し、これら豊富で独自性ある景観資源は、空知地域の大きな強みである。
- ・さらに、暑寒別天売焼尻国定公園や雨竜沼湿原といった自然資源も豊かで、四季折々の高山植物や野鳥観察が楽しめ、観光資源としての潜在力も高い。特に、ラムサール条約に登録された雨竜沼湿原は、希少な生態系と自然美が評価されている。
- ・日本遺産や北海道遺産に認定された炭鉱遺産も多く存在し、かつて日本最大の炭鉱地帯として栄えた歴史を伝える重要な資源である。「地域を知ると見える景色が変わります。」というキャッチフレーズの通り、地域の歴史や文化を伝えることで景観への関心が高まり、地域発展につながると期待される。

○活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進、地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取組、景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

- ・活動団体がルート運営活動計画の主導的な推進役を担っており、地域全体の魅力向上に積極的に取り組む姿勢がうかがえる。
- ・行政と連携した「シーニックキャラバン」による景観や資源の調査は、継続することで地域協力体制の強化が図られ、景観資源の質的向上への貢献が期待できる。
- ・シーニックデッキやカフェの普及による地域住民の誇りを育む取り組みや見・香・聞・食・撮の五感で地域の様々な資源を「空知ing」というコンセプトは、今後のビジネス化や地域のブランド価値向上に大きく寄与するものと考えられる。
- ・一方、10市14町という広大なエリア設定は、ルートの魅力でもあり、統一的なブランド化という点では難しさでもある。基本方針にもある「物語を紡ぐ」という観点から本エリアのブランド化（観光客などがイメージできるエリア）に期待する。
- ・地域の歴史的資源を深く掘り下げ、炭鉱遺産など歴史的価値を未来へ伝え、地域の魅力を発信できる人材の育成も重要である。ブランド価値の共有を徹底し、地域づくりに望んでほしい。シーニックバイウェイの取り組みとしての「空知ブランド」の醸成こそ地域の活性化に寄与するものと考えたい。モビリティーツーリズムの視点を色濃く演出し、空知管内の移動が楽しい、移動と考えたいそのものを旅の醍醐味とするプランの構築に期待したい。

○今後の期待

- ・登録がゴールではなく、スタートである。これまで長年かかってここまで漕ぎつけられ、ほっとされていると推察するが、思いを新たに更なる高みを目指していただきたい。
- ・人口減少への対応と地域活性化が空知における特に大きな課題であると思うが、第9期の北海道総合開発計画との連携・協働も視野に入れてこの課題に取り組んでいただきたい。

アドバイザー会議 審査結果

空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

審査の視点	視点1					視点2	視点3	視点4	シーニックバイウェイルート指定の推薦の可否	
	国内において優位性が認められる主な地域資源								活動団体の主導的な推進	地域の魅力向上への取り組み
審査委員	景観	自然	文化	歴史	レク					
A	○	○	-	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	推薦に当たっての条件はないが、以下に今後に向けての期待を述べたい。 ・登録がゴールではなく、スタートである。これまで長年かかってここまで漕ぎつけられ、ほっとされていると推察するが、思いを新たに更なる高みを目指していただきたい。 ・人口減少への対応と地域活性化が空知における特に大きな課題であると思うが、第9期の北海道総合開発計画との連携・協働も視野に入れてこの課題に取り組んでいただきたい。
B	○	-	-	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	広大なエリア設定であるにもかかわらず、地域の資源・英知を結集したルート運営活動計画における熱意は大変なものだと感じる。 多岐にわたる活動が過度ではないのか？との心配もありますが、これまでの実行力から持続可能な形が模索されるものと期待し、推薦をいたします。
C	○	-	○	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	シーニックバイウェイの事務局は、それぞれの参加団体の活動の研鑽を促し、情報共有に努めるのももちろんのこと、新規の参加者を増やし活動の活性化、地域が丸となったって目的を達成することへのリーダーシップを発揮してほしい。「空知ブランド」の醸成こそ活動の輪が広がり目標達成のポイントである。一層の活動を期待する。
D	○	-	○	○	○	認められる	認められる	認められる	推薦できる	
E	○	-	-	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	空知エリアならではの優れた景観資源および炭鉱歴史等の地域資源の優位性が認められると共に、これまでの関係者との検討により、若い世代のメンバーを含む体制づくりが進められており、シーニックバイウェイルートとしてより良い地域づくりに繋げていくステージに至っていると考える。空知の風景を五感全体で体感してもらおうというコンセプトは申し分ないが、多種多様な地域をどのようにまとめていくかは重要な課題になると思われる。デジタル技術の活用等も視野に入れながら、空知らしいシーニックバイウェイの展開を期待する。
F	○	○	○	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	空知シーニックバイウェイは、年々その活動の幅を広げ、地域、行政、そして各団体が一体となって取り組んでいることが顕著に見受けられる。文面に示されている通り、このバイウェイは、日本一の直線道路である国道12号を軸に、石狩川流域の広大な田園風景が広がる内陸地帯を貫いている。そこで得られる景観、歴史、文化、自然のすべてが、この場所ですべて体験できない特別なものであると感じられる。 加えて、空知シーニックバイウェイは、SNSや地域PRマップ、講演会やセミナーなどを通じて、積極的に情報を発信し、多方面でのイベントを行い、活動をさらに広げている。その結果、活動への関心を持つ人々が年々増加し、空知の注目度も高まっている状況である。 また、空知シーニックバイウェイの活動理念である「人との繋がりを」や「関わり」を生み出し、「空知の幸せに気付いてもらう」という目標に強く賛同している。このような意義深い取り組みを踏まえ、今回、空知シーニックバイウェイを新たにシーニックバイウェイルートとして推薦することで、シーニックバイウェイ北海道全域のさらなる発展に貢献できることを期待したい。
G	○	-	-	○	-	認められる	認められる	認められる	推薦できる	これだけの準備をされて、シーニックバイウェイに望まれる、その熱量と実現力に敬意を表したいと思います。本当に素晴らしいと思います。これまでのさまざまな取り組みが、シーニックバイウェイで示されている1つの方向性に集約される形なのかなと感じました。 ただ方針含め、取り組みもエリアも広大なもので、これらを取りまとめていくというのは大変に難しいことだろうとも同時に思っており、どのように進められていくのかも大変興味深いところです。

※視点

- 優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性
- 活動団体によるルート運営活動計画の主導的な推進
- 地域住民等と行政が一体となった地域の魅力向上の取り組み
- 景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化

シーニックバイウェイルート指定について

○シーニックバイウェイ北海道実施要綱第18条第一項及び第二項の規定に基づき、次のとおりシーニックバイウェイルート指定を行う。

■指定ルート

ル ー ト 名：空知シーニックバイウェイ-体感未来道-

関係市町村：沼田町、秩父別町、深川市、妹背牛町、滝川市、赤平市、歌志内市、上砂川町、奈井江町、芦別市、美唄市、三笠市、夕張市、由仁町、長沼町、南幌町、栗山町、岩見沢市、月形町、浦臼町、砂川市、新十津川町、雨竜町、北竜町

提 案 者：空知シーニックバイウェイルート運営代表者会議

シーニックバイウエイルート提案書

令和6年9月2日

シーニックバイウエイ北海道推進協議会長 殿

空知シーニックバイウエイ
ルート運営代表者会議
代表 工藤 克彦 印

以下のとおり、シーニックバイウエイルートの提案を行います。

記

代表者名	工藤 克彦	
代表者の所属	NPO 法人日本一直線道まちづくり研究会	
代表者の住所	空知郡奈井江町字奈井江 171-34	
代表者の連絡先	電話 0125-65-5085	F A X 0125-65-5085
担当者名*	川田 孝志	
担当者の所属*	一般社団法人 空知建設業協会	
担当者の住所*	〒068-0028 北海道岩見沢市 8 条西 3 丁目 1-2	
担当者の連絡先*	電話 0126-23-1836	F A X 0126-25-2459
ルート名	空知シーニックバイウエイ-体感未来道-	
構成団体数	22 団体	
関係市町村名	沼田町、秩父別町、深川市、妹背牛町、滝川市、赤平市、歌志内市、上砂川町、 奈井江町、芦別市、美唄市、三笠市、夕張市、由仁町、長沼町、南幌町、栗山町、 岩見沢市、月形町、浦臼町、砂川市、新十津川町、雨竜町、北竜町 計 (24) 市町村	
※ルート運営活動計画とは別に、基幹となるルートが明示された参考図(様式1-2)を添付してください。		
提案の種類	<input checked="" type="checkbox"/> シーニックバイウエイルート	<input type="checkbox"/> シーニックバイウエイ候補ルート
必要書類	<input checked="" type="checkbox"/> ルート運営活動計画 <input checked="" type="checkbox"/> 関係市町村長の意見 <input checked="" type="checkbox"/> 候補ルート登録時における付帯意見の対応表	<input type="checkbox"/> ルート運営活動計画の骨子
備考		

※代表者以外が連絡窓口となる場合には、担当者名の氏名・住所・連絡先もご記入ください。

以 上

